

様式第2号

経常建設共同企業体構成員一覧表

(構成員)

許可番号	許可年月日	商号または名称	代表者氏名	所在地

※様式第2号記入要領

- 1 経常建設共同企業体として資格審査を申請する場合のみ作成してください。
- 2 様式第1号（その1）において代表者として記入した者を含めた構成員全員について記入してください。

商号 または 名称	
-----------------	--

		直前2期以前の決算より	直前1期の決算より	年間平均完成工事高
法面処理工事	種子吹きつけ	総完成工事高 ア		
		うち元請工事高 イ		
	モルタル吹きつけ	総完成工事高 ウ		
		うち元請工事高 エ		
	ボーリング	総完成工事高 オ		
		うち元請工事高 カ		
	その他の法面処理工事	総完成工事高 キ		
		うち元請工事高 ク		
	法面処理工事計	総完成工事高 ケ=ア+ウ+オ+キ		
		うち元請工事高 コ=イ+エ+カ+ク		
交通安全施設工事	総完成工事高 サ			
	うち元請工事高 シ			
とび・土工・コンクリート(その他)工事	総完成工事高 ス			
	うち元請工事高 セ			
とび・土工・コンクリート工事計	総完成工事高 ケ+サ+ス			
	うち元請工事高 コ+シ+セ			

※とび・土工・コンクリート工事完成工事高内訳調べ（様式第3号）記入要領

1 この様式は、「法面処理工事」、「交通安全施設工事」または「とび・土工・コンクリート（その他）工事」について申請する場合のみ作成してください。

（とび・土工・コンクリート工事の建設業許可を受けていても、資格審査の申請をしない場合は、作成する必要はありません。）

2 審査基準日の直前の営業年度の決算日からさかのぼって24か月分の完成工事高について記入してください。

3 審査基準日直前の決算日からさかのぼって24か月分の「とび・土工・コンクリート工事」の完成工事高について、「法面処理工事」、「交通安全施設工事」および「とび・土工・コンクリート（その他）工事」に区分して記入してください。

さらに、「法面処理工事」については、「種子吹きつけ工」、「モルタル吹きつけ工」、「ボーリング工」および「その他の法面処理工事」に区分して記入してください。

【とび・土工・コンクリート工事の区分】

法面処理工事	各種吹付工、法枠工および法覆工
交通安全施設工事	標識、反射鏡、ガードレール等の交通安全施設設置工事であって、道路管理者または公安委員会が設置するもの
とび・土工・コンクリート（その他）工事	上記以外の工事だとび・土工・コンクリート工事に該当する工事

4 「法面処理工事 計」および「とび・土工・コンクリート工事 計」の総完成工事高欄の金額（年間平均完成工事高）は、それぞれの経営事項審査における工事種別別完成工事高表で計算した2年平均の金額と一致している必要があります（工事種別別完成工事高について、3年平均を選択した場合には、同表から2年分を抜き出した金額の平均となります。）。

5 金額の単位は、千円単位としてください。

様式第4号

営 業 用 機 械 器 具 調 べ

商 号 または 名 称	
-------------------	--

業 種					
名 称	種 類	能 力	製造所名	取得年月日	備 考

※以下の欄は、「業種」の欄に、**法面処理工事**または**ほ装工事**のいずれかを記入した場合のみ記入してください。

上に記載した建設機械の所有および作動状況について、次のとおり監督職員による実地確認を依頼します。

実地確認を希望する日時	【第1希望】 平成 年 月 日 () の 午前・午後 【第2希望】 平成 年 月 日 () の 午前・午後 【第3希望】 平成 年 月 日 () の 午前・午後	※ 資格審査の申請日から1月以内の日（県の休日を除く。）としてください。 なお、必ずしも希望した日時が実地確認の日時として指定されるわけではありませんので、御了承ください。
実地確認場所の所在地	※ 資格審査申請書を提出した土木事務所の管轄区域内に限ります。	

※ 実地確認に当たっては、実際に建設機械を作動させることができるオペレーターの方に機械を作動していただきます。オペレータによる作動状況の確認ができない場合は、資格審査に必要な建設機械として認めることができません。

※営業用機械器具調べ（様式第4号）記入要領

- 1 次の表の左欄に掲げる①～⑤の業種について申請する場合または⑥に掲げる除雪用機械を所有している場合は、同表の右欄に掲げる建設機械等について、申請時に所有しているものすべてを業種ごとに別の用紙にして記入してください（該当がない場合には、名称の欄に「該当なし」と記入してください。）。
- 2 「業種」の欄には、土木一式工事（船舶）、法面処理工事、ほ装工事、塗装工事、さく井工事またはその他（除雪）のいずれかを記入し、それぞれ別の用紙に記入してください。
- 3 「② 法面処理工事」および「③ ほ装工事」の欄に掲げる建設機械のうちアンダーラインを付した建設機械については、リース期間が平成25年4月30日以降に及ぶもので、中途に解約することが禁止されているリース契約（独占的に使用できるものに限る。）についても、所有しているものに含みます。
- 4 「② 法面処理工事」および「③ ほ装工事」のうち、アンダーラインを付した建設機械については、所有（3に規定するリース契約を含む。）していることを確認できる資料（市役所・町役場の資産証明、売買契約書（写）、車検証（写）、リース契約書等）および写真を必ず添付してください。また、備考欄には、型式および製造番号ならびに登録番号がある場合は登録番号を必ず記入してください。
- 5 「①土木一式工事（船舶）」および「⑥その他（除雪）」に係る建設機械については、所有していること（自己所有に限り、リース契約は含みません。）を確認できる資料（市役所・町役場の資産証明、売買契約書（写）、車検証（写）等）および写真を必ず添付してください。
- 6 備考欄には、機械の登録番号、型式および製造番号を記入してください。

建設工事の種類	建設機械等
①土木一式工事 (船舶)	トランザクション浚渫船／ポンプ浚渫船／カッターレスポンプ浚渫船／マイクロポンプ浚渫船／浚渫船（汚泥浚渫船・高濃度浚渫船・浚渫空気圧送船）／バケット浚渫船／グラブ浚渫船（自航・非自航）／起重機船（自航・非自航）／クレーン付台船／杭打船／砕岩船（重錨式・衝撃式）／引船（曳船）／押船／監督船（自航・非自航）／交通船（自航・非自航）／測量船（自航・非自航）／土運船（自航・非自航）／揚錨船／コンクリートミキサー船（バッチ式・連続式）／台船（自航・非自航）／運搬船（自航・非自航・組立台船）／ガット船（採砂運搬船・石材運搬船）／ガットバージ／給水船（自航・非自航）／石運船（自航・非自航）／捨石船（自航・非自航）／サンドドレーン船／サンドコンパクション船／深層混合処理船／潜水土船／ケーソン製作用作業台船／自己昇降式作業台船／磁気探査船／油回収船／廃油回収船／清掃船／バージアンローダー船／圧送船／スパッド台船／オイルフェンス展張船／砂撒船／特殊船 ※船舶を所有している場合の記入欄の注意事項（作業船の定義は、(社)日本作業船協会発行の「現有作業船一覧」を参考にすること。）

	<ul style="list-style-type: none"> ・「名称」の欄には、船の名前（例：第3福井丸）と、上記の船種を記入する。（船種の後に（ ）書きのある場合は（ ）内の種類も選択して記入すること。） ・「種類」の欄には、自航・非自航の区別、船の大きさ等を記入する。 ・「能力」の欄には、出力、クレーン能力、浚渫容量、積載能力等を記入する。 ・「備考」の欄には、船舶番号、兼用能力等を記入する。
②法面処理工事	<u>モルタル吹きつけ機</u> <u>種子吹きつけ機</u> <u>ボーリングマシーン</u>
③ほ装工事	<u>アスファルトフィニッシャー</u> <u>マカダムローラー</u> <u>タイヤローラー</u> <u>グレーダー</u> <u>切削機</u>
④塗装工事	<u>加熱溶解式溶解車</u> <u>加熱溶解式ラインマーカ</u> <u>加熱ペイント式ラインマーカ</u> <u>加熱溶解式ハンドマーカ</u> <u>常温ペイント式ハンドマーカ</u> <u>溶解釜</u>
⑤さく井工事	<u>ボーリング機</u>
⑥その他（除雪）	<u>ロータリー除雪車</u> <u>除雪トラック</u> <u>除雪ドーザ</u> <u>除雪グレーダー</u> <u>小型除雪機械</u> ※福井県土木部が策定する道路雪対策基本計画において民間除雪機械委託として登録されているものに限ります。

※ 様式第5号記入要領

- 1 この様式は、次の表の左欄に掲げる業種について資格審査の申請をする場合のみ作成してください。建設業の許可を受けていても資格審査を申請しない業種については、作成する必要はありません。
- 2 申請書提出日現在で、次の表の右欄に掲げる技術者等（自社と6か月以上の雇用関係がある者に限る。）について記入してください。
- 3 次の表の左欄に掲げる業種ごとに別の用紙に記入してください。

業 種	常勤技術者等（「法令による免許等」の欄に記入する名称）
① 土木一式工事	自社で所有する曳船、起重台船、台船またはしゅんせつ船の操縦士、運転手または船員
② 電気工事	電気工事施工管理技士1級 電気工事施工管理技士2級 電気工事士1種 電気工事士2種
③ 管工事	配管技能士1級 配管技能士2級 冷凍空気調和機器施工技能士1級 冷凍空気調和機器施工技能士2級
④ ほ装工事	舗装施工管理技術者1級 舗装施工管理技術者2級 1級建設機械施工技士 2級建設機械施工技士（3種、4種または5種に限る。） アスファルトフィニッシャーの操作員 マカダムローラーの操作員 タイヤローラーの操作員 その他ほ装工事に従事する者
⑤ 塗装工事	路面標示施工技能士 塗装技能士1級 塗装技能士2級 （※塗装技能士については、 木工塗装作業、建築塗装作業、金属塗装作業、噴霧塗装作業または鋼橋塗装作業の別を明記してください。 ） 特別管理産業廃棄物管理責任者 特定化学物質等作業主任者（平成18年3月までに取得した者に限る。）
⑥ 造園工事	造園技能士1級 造園技能士2級
⑦ 左官工事	特別管理産業廃棄物管理責任者
⑧ とび・土工工事	特定化学物質等作業主任者（平成18年3月までに取得した者に限る。）
⑨ 内装工事	石綿作業主任者
⑩ 法面処理工事	1級建設機械施工技士 2級建設機械施工技士（6種に限る。） 地すべり防止工事士 法面施工管理技術者 モルタル吹きつけ機の操作員 種子吹きつけ機の操作員 ボーリングマシンの操作員 その他法面処理工事に従事する者
⑪ 電気通信工事	電気通信主任技術者（伝送交換主任技術者） 電気通信主任技術者（線路主任技術者）、 工事担任者（アナログ第1種） 工事担任者（アナログ第2種） 工事担任者（アナログ第3種） 工事担任者（デジタル第1種） 工事担任者（デジタル第2種） 工事担任者（デジタル第3種） 工事担任者（アナログ・デジタル総合種）

- 4 記入した技術者等に係る資格者証等の写しを添付してください。
- 5 「住所」は、市町名を記入してください（**字、番地等の記入は必要ありません。**）
- 6 「備考」欄は、何も記入しないでください。

経営規模等総括表

経営事項審査対象工事種別		工事			評価対象数値		評点
商号または名称		A	B	C			
経営規模	工事種別別 年間平均完成工事高	千円	千円	千円	(A+B+C) =		X ₁
	自己資本額	千円	千円	千円	(A+B+C) =		a
	利益額	千円	千円	千円	(A+B+C) =		b
							X ₂ = (a+b) / 2
経営状況		点	点	点	A、B、Cの平均 (小数点以下四捨五入)		Y
技術力	技術職員数	工事種別別 一級技術者数	人	人	人	(A+B+C) = ①	
		(上記のうち講習受講)	人	人	人	(A+B+C) = ②	
		工事種別別 基幹技能者数	人	人	人	(A+B+C) = ③	
		工事種別別 二級技術者数	人	人	人	(A+B+C) = ④	
		工事種別別 その他の技術者数	人	人	人	(A+B+C) = ⑤	
	計					(①×5+②×1+③×3+④×2+⑤×1) =	
	工事種別別 年間平均元請完成工事高	千円	千円	千円	(A+B+C) =		e
							Z = d×4 / 5 + e×1 / 5
その他の審査項目(社会性等)		点	点	点	A、B、Cの平均 (小数点以下四捨五入)		W

(注) 「評点」の欄は記入しないでください。

※総合評点 = 0.25×X₁() + 0.15×X₂() + 0.2×Y() + 0.25×Z() + 0.15×W() = P

※経営規模等総括表(様式第8号)記入要領

- 1 審査基準日の直前1年の事業年度の決算日を基準とする経営規模等評価結果通知書および総合評定値通知書に基づいて記入してください。
- 2 申請する業種ごとに別の用紙にして記入してください。